

教育研究業績書

2017年05月29日

所属：心理・社会福祉学科

資格：講師

氏名：堀 善昭

研究分野	研究内容のキーワード
社会福祉学、政策学、社会学、ヒューマン・セキュリティ学	権利擁護、成年後見、社会事業史、地域福祉、高齢者福祉、ソーシャルワーク、介護、ケア、精神保健福祉、社会政策、社会保障、社会学
学位	最終学歴
博士（ヒューマン・セキュリティ）	同志社大学 総合政策科学研究科 ヒューマン・セキュリティ専攻 博士課程（後期課程）修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 「より良い授業方法の工夫と実践」の取組	2016年08月19日	対話型授業の工夫した実践を紹介し、受講生への効果なども報告し、学長より表彰を受けた。
2. 卒業教育の支援	2016年04月～現在	社会福祉現場で就労する卒業生に対し、支援を行った。
3. 社会福祉士実習巡回指導と社会福祉士及び精神保健福祉士実習先開拓	2016年04月～現在	社会福祉士実習機関へ巡回指導を行ない、社会福祉士及び精神保健福祉士の実習機関の開拓を行っている。
4. コミュニケーションシートを用いた授業の振り返り	2016年04月～現在	授業の振り返りとしてコミュニケーションシートを提出してもらい、次回の授業において、復習と授業方法の改善を行っている。
5. キャリア支援対策	2016年04月～現在	エントリーシートの添削などを行い、学生の支援を行っている。
6. 地域との協働実践	2015年10月～現在	ゼミ活動の一環として児童虐待防止運動(オレンジネット)街頭啓発活動に、民生・児童委員、西宮市、甲子園警察とともに参加した。
7. 面接・小論文対策	2015年04月～現在	面接・小論文対策を行っている。各自自治体に合わせた面接、小論文対策などをおこなった。
8. 国家試験対策のための合宿の実施	2014年09月～現在	国家試験対策のための合宿を実施している。3年・4年生に対し、国家試験合格にむけてのモチベーション向上に努めた。また、学生による合宿委員も組織化し、夏と冬の運営に携わっている。
9. アサイメント課題を活用した授業展開	2014年09月～現在	授業時だけでなく、授業前後の学びの時間を増やすべく、事前事後にアサイメント課題の提出を義務付けた。
10. 公務員対策の実施	2014年04月～現在	公務員を志望する学生に対して個別指導を行うとともに、現職との交流(説明会や訪問)も行った。結果的に、公務員になる学生が格段に増えた。
11. 国家試験対策委員の組織化	2014年04月～現在	国家試験対策委員を組織化し、全員が合格できるように学生の動向をニーズをとらえる工夫を行った。結果的に、合格率が格段に飛躍し、私大1位などを獲得した。
12. ラーニングコモンズを活用した双方向授業	2014年04月～2016年03月	学習者中心の「学び」を実践し、学生自ら主体的な学びを創出するような授業展開を実施した。
13. 国家試験自主勉強会の運営管理	2014年04月～現在	国家試験自主勉強会運営のためのノウハウ構築を行うとともに、可能な限り自主勉強会に教員も参加し、学生の質問に答えるようにしている。
14. キャリア支援におけるポートフォリオ作成	2013年04月～現在	「女性のライフステージとキャリア」及び「専門演習」や講義科目において、キャリア形成に向けての動機づけを行うとともに、ポートフォリオ作成のための自己分析も行った。
15. PBLを取り入れた授業実践	2013年04月～現在	地域における様々な福祉ニーズを学生自身が中心となって課題をたて、プロジェクトを報告するという授業展開を行った。
16. 初期演習における基礎力養成	2012年04月～・2014年04月～2016年03月	少人数のグループに分かれ、自ら設定した課題に対し取り組む。課題では、深い洞察力を養うとともに、成果物を報告するプレゼンテーション能力も高める授業展開を行った。
17. グループワークを取り入れた授業実践	2011年04月～現在	20人規模から120人程度の授業では、可能な限り少人数に分かれてグループワークを持つ機会を作った。講義での内容を深め、都度振り返れるような取組を行った。
18. マルティメディアを活用した授業	2011年04月～現在	マルチメディアを活用し、授業に対し適切な機材を活用するとともに、わかりやすい授業展開を心がけた。また、毎授業時に配布しているコメントシートを参考にし、学生の声を次週に反映するよう授業展開を行った。
19. ロールプレイを取り入れた授業実践	2011年04月～現在	ソーシャルワーク教育、演習授業において、面接場面を想定したロールプレイを行うことでより実践力を高めるよう工夫した。
2 作成した教科書、教材		
1. 地域福祉の今を学ぶ	2010年03月	共著(妻鹿ふみ子, 長沼豊, 桜井政成, 加山弾, 堀善昭他)(pp.116-125) 地域福祉を学ぶ学生や実践者に対し、地域福祉の意味、理論その背景にある福祉の状況等を、具体的事例をとおして示している。社会福祉士国家

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
		試験学習者に対するサブテキストとして使用している。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 生駒市権利擁護センター	2017年03月02日	市民向けのシンポジウムにおける権利擁護に関する講演を行った。
2. 吹田市社会福祉協議会	2017年01月22日	吹田市社会福祉協議会主催の年始に開催される社会福祉大会において、基調講演を行った。
3. 京都山城北・中部社会福祉協議会	2016年02月03日	日常生活自立支援事業の生活支援員に対する講演を行った。
4. 大分大学公開講座	2013年11月03日	社会福祉サービスにおける組織マネジメントについて講演した。
4 その他		
1. 西宮市人権・同和教育協議会 高校・大学部会委員	2011年04月～2016年03月	西宮市内の高等学校・大学が定期的集い、人権教育の在り方を研究している。
2. 同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 嘱託研究員	2007年11月～2011年03月	事例研究・研修プロジェクトに参加し、研究分析を行った。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 実務者教員養成研修 修了 (介護福祉)	2015年4月	日本介護福祉士会
2. 介護教員講習会修了	2015年3月	大阪介護福祉士会
3. 認定社会福祉士制度経過措置期間におけるスーパーバイザー	2013年12月	S13-035
4. 精神保健福祉士	2013年04月	57428号
5. 精神保健福祉士実習・演習担当教員講習会 (実習分野)	2012年03月23日	C2011-111
6. 社会福祉士実習演習担当教員講習会 (実習分野)	2011年09月09日	2011-46
7. 社会福祉士実習演習担当教員研修 (演習分野)	2011年09月02日	2011-46
8. 小規模多機能型サービス計画作成担当者	2009年10月23日	95 (京都市)
9. 認知症対応型サービス事業開設者	2008年09月12日	31 (京都市)
10. 社会福祉士養成実習指導者	2008年02月15日	全社学証発343
11. 認知症対応型サービス事業管理者	2008年02月15日	108 (京都市)
12. 介護支援専門員	2008年02月	26070087
13. 介護福祉士	2007年04月	第D-349960
14. 社会福祉士	2006年04月	第71548
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 第三者評価制度 評価委員 (神戸市)	2015年6月～現在	神戸市老人福祉施設連盟
2. 日常生活自立支援事業締結審査委員会および法人後見事業審査会	2015年04月～現在	京都市社会福祉協議会
3. 介護・福祉第三者評価事業	2007年11月21日～2011年03月31日	京都市老人福祉施設協議会
4. 京都市介護認定審査会委員	2007年04月～2011年03月	京都市
5. 情報公表制度調査者	2006年08月～2011年03月	京都市老人福祉施設協議会
4 その他		
1. ばあとなあ京都事業部長	2017年04月～現在	
2. ばあとなあ京都 ブロック長	2014年04月～2017年03月	
3. 社会福祉法人一羊会 第三者委員	2013年06月～現在	
4. 日本社会福祉士養成校協会 近畿ブロック運営委員	2013年04月～2015年06月	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 高齢者福祉施設における援助活動の歴史の変遷	単	2018年09月01日刊行予定	ミネルヴァ書房	高齢者福祉施設における援助活動の歴史展開を事例をもとに考察する。
2. はじめて学ぶ子供の福祉 社会福祉	共	2017年08月01日	ミネルヴァ書房	倉石哲也, 伊藤嘉余子, 堀善昭 本書は保育士養成テキストであるが今回は、社会福祉制度と法律、さらには社会福祉機関について記述した。
3. よくわかるシリーズ 権利擁護と成年後見制度 第2版	共	2017年04月01日	ミネルヴァ書房	堀善昭, 永田祐編著『権利擁護と成年後見制度』の第2版執筆し、編者代表として全体を取りまとめた。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
4. よくわかるシリーズ 権利擁護と成年後見制度	共	2016年04月10日	ミネルヴァ書房	堀善昭，永田祐編著『権利擁護と成年後見制度』に関する教科書を執筆し、編者代表として全体を取りまとめた。
5. 新しい福祉サービスの展開と人材育成	共	2010年03月	法律文化社	(埋橋孝文，野村裕美，片岡哲司，田中希世子，堀善昭 他) (pp.138-142) 福祉サービスの人材育成をめぐる理論と実践，教育と研究，国内と海外の分野を架橋し，示唆している。堀は事例用いた研修モデルの構築を担当した。
6. 高齢者ケア実践事例集	共	2009年10月	第一法規出版	(坪山孝，村川浩一，堀善昭 他) (pp.2191-2199) 高齢者ケアの基本動向やケアの方法論，サービス評価など，多面的に示している。堀は地域包括支援センターの取組みを担当した
7. 福祉系学生の就職に対する意識調査報告書	共	2008年10月	京都市老人福祉施設協議会	(山田尋志，三代修，真辺一範，堀善昭 他) pp1-24京都市内の福祉系学生に就職に対する意識調査をおこなった。堀は調査書の作成，回収，分析を担当した。
8. 地域包括支援センターを受託しての現状と課題	単	2007年01月	全国社会福祉協議会『ふれあいケア』	地域包括支援センターの現状を事例をもとに述べている。
2 学位論文				
1. 高齢者福祉施設における援助活動の歴史の変遷	単	2017年03月20日修了	同志社大学総合政策科学研究科総合政策科学専攻ヒューマン・セキュリティコース博士課程(後期課程)	近代から続く高齢者福祉施設の歴史の変遷を援助活動の視点から通史的に論考をくわえている。
2. 現代日本における社会福祉セクターの機能に関する研究	単	2008年03月	立命館大学社会学研究科 修士課程	わが国における社会福祉セクターは、多様化し利用者にとって選択の幅が増える一方、わかりにくさも存在する。そこで本研究では、事例をもとに社会福祉セクターの機能を分析した。
3 学術論文				
1. 明治期における養老院 - 生活支援に関する一考察 (査読付)	単	2017年08月投稿予定	日本生活支援学会 平成29年全国大会	明治期における養老院では、高齢者に対し生きる意味を見出す支援がなされていた。この意欲を見出す支援は、生活支援学の全人的ケアの意味ともとらえることができる。
2. 明治時期における養老院設立と援助活動の歴史的分析-ミッション性と拠点化	単	2013年03月	武庫川女子大学人間学研究会 Vol.28 pp33-43	明治期における養老院の援助実践を、具体的な施設を通して分析を行った。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 日本社会福祉士会 近畿ブロック研究・研究会 近プロ賞選考委員	共	2017年02月11日	日本社会福祉士会 近畿ブロック研究・研修会	日本社会福祉士会 近畿ブロック研究・研修会 近プロ賞選考委員
2. 日本社会福祉士会 近畿ブロック研究・研究会査読委員	単	2016年11月06日	日本社会福祉士会 近畿ブロック研究・研修大会	日本社会福祉士会 近畿ブロック大会における分科会発表原稿の査読委員
3. 地域福祉の新潮流を探る-グローバルイズムとローカリズム	単	2013年6月9日	日本地域福祉学会 第5分科会 対象・対象者(高齢者) コメンテーター	地域福祉学会の分科会のコメンテーターとして、各発表者に対するコメントを述べた。
4. 現実をとらえる視点と方法-社会福祉研究法をめぐって	共	2008年2月23日	関西社会福祉学会 第11回若手研究者・院生情報交換会	社会福祉の研究法について発表を行うとともにパネリストなどに質問もおこなった。
2. 学会発表				
1. 別府養老院における地域福祉実践に関する研究-創立者矢野嶺雄の施設実践からみた今日的な施設運営の課題-	単	2014年06月15日	日本地域福祉学会 第28回全国大会	別府養老院の実践を地域福祉の視点から歴史的に分析を行った内容を学会発表した。
2. 福祉系学生の就職に対する意識に関する研究	単	2008年09月	ヒューマンセキュリティ・サイエンス学会 第3回年次大会	福祉施設に就職した福祉系学生の意識調査を行った内容を学会発表した。
3. 新人研修から見た職員定着率(特別養護老人ホーム)に関する研究	単	2008年09月	日本老年行動学会 第11回全国大会	新人研修を行うことで特別養護老人ホームに長く勤務する要因があることを結果として報告した。
4. 現代日本における社会福祉セクターの機能に関する研究	単	2008年06月	日本地域福祉学会 第22回全国大会	わが国における社会福祉セクターの実践について、事例をもとに発表した。
3. 総説				
1. オーガナイズングのための基本原則:実践からの視点	共	2007年03月	同志社大学大学院社会学研究学論集第21号	協力者として執筆。(室田信一，安宅るい，中村拓，奥村由衣，堀善昭他) pp46-47コミュニティにおいて活動するソーシャルワーカーが活動できる心構えを示している。堀は計画と記録の部分を担当した。
4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 高齢者福祉施設の選び方	単	2017年05月28日	武庫川学院鳴松会ミニ講演会	高齢者福祉施設の選び方について発表を行った。
2. 身上監護の知識と後見事務の実務	単	2016年10月2日	日本社会福祉士会	日本社会福祉士会の委託研修として、京都社会福祉士会が受託した成年後見人養成研修会である。身上監護の知識と後見事務の実務について発表する予定である。
3. 想いを引きだす利用者さんとの接し方について	単	2016年02月3日	京都山城北・中部社会福祉協議会	日常生活自立支援事業の専門員に対し、現任研修をおこなった。
4. これからの実習マネジメントを考える - 現場と養成校、学生の三者で本音を語ろう	単	2015年3月7日	日本福祉教育学校連盟 近畿ブロック支部・日本社会福祉士養成校協会 近畿ブロック 共同セミナー	相談援助実習は、学生・機関・養成校が協働で実習に取り組む事になっているが、現状は三者が同じ場で協議した場面は見受けられない。そこで今回のセミナーでは、養成校の立場から報告を行った。
5. 上野谷加代子先生 緑樹記念「助けようぜ 助けられようぜ」	共	2015年07月12日	リレートーク 発表者	上野谷教授の教えに対し、具体化した実践および研究内容を報告した。
6. 福祉施設におけるマネジメントとケア	単	2013年11月30日	大分大学公開講座 第6回福祉社会科学講座 基調講演	福祉施設の人材に関するマネジメントを中心に講演した。
7. 日本社会福祉教育学校連盟・日本社会福祉士養成校協会合同セミナー	共	2013年03月8日	日本社会福祉教育学校連盟、日本社会福祉士養成校協会 近畿ブロック	養成校は、社会福祉法人・施設・団体・社協といかに連携するかというテーマのもと、シンポジストとして発表した。
8. 西宮市人権・同和教育協議会	単	2012年11月1日	第49回 西宮市人権・同和教育研究集会	人権に配慮した授業実践を報告した。
9. てい談 利用者がその人らしく生活するための行事の工夫とは	共	2007年09月	全国社会福祉協議会『ふれあいケア』	(堀善昭, 坪山孝, 萱津公子) pp9-15施設における行事及びレクリエーションについて具体的事例を通して述べている。

6. 研究費の取得状況				
1. 高齢者の居場所に関する研究-高齢者福祉施設併設のカフェ実践から	単	2017年09月30日申請予定	ユニバーサル財団助成事業 基本テーマ「健やかでこころ豊かな社会をめざして」	高齢者福祉施設は、地域で暮らす高齢者にとって居場所となる可能性を秘めているため、実際に施設併設のカフェを利用する高齢者にインタビュー調査を行うものである。
2. 地域包括ケアシステム構築における高齢者福祉施設の役割に関する研究	単	2015年08月～2016年3月	科学研究費補助金学内奨励金	地域包括ケアシステム上の高齢者福祉施設の位置づけが未だ確立していない現状を踏まえ、今後、わが国における先駆的な施設に関する文献収集とインタビューを行うで、地域包括ケア内の位置づけを明確にしようとしている。
3. 高齢者福祉施設における援助活動の歴史の変遷	単	2012年09月～2013年3月	科学研究費補助金学内奨励金	建物などのハードウェアと援助内容といったソフトウェアは、歴史的にどのように変遷してきたのかを分析した。
4. 大学院研究高度化推進特別経費	単	2010年04月～2011年3月	同志社大学大学院	140年続く高齢者福祉施設の文献収集および分析を行った。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年05月～現在	日本成年後見法学会
2. 2017年04月～現在	日本社会事業史学会
3. 2017年04月～現在	権利擁護センターばあとなあ京都 事業部長
4. 2015年03月～現在	日本生活支援学会
5. 2014年04月01日2017年03月31日	権利擁護センターばあとなあ京都 中部Bブロック長
6. 2011年04月～現在	人間学研究会
7. 2008年10月5日～現在	日本福祉教育・ボランティア学習学会
8. 2008年07月3日～現在	日本老年行動科学学会
9. 2008年04月～現在	ヒューマンセキュリティ・サイエンス学会
10. 2008年03月10日～現在	日本地域福祉学会
11. 2006年07月～現在	日本社会福祉学会
12. 2006年06月～現在	日本社会福祉士会